

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	日本語	
科目基礎情報							
科目番号	13014			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	「改訂版 大学・大学院留学生の日本語③論文読解編」アカデミックジャパニーズ研究会編著（アルク）、自主教材						
担当教員	池田 晶,竹山 恵里						
到達目標							
1「読む・書く・話す・聞く」の4技能を高めます。2日本語でのコミュニケーション能力を高め、プロジェクトなどグループ活動をスムーズに行う力を伸ばします。3PPTの書き方を学び、発表の方法を学びます。4 講義の内容を理解し、レポート作成、発表などができる力を伸ばします。5リーディング、ライティングの練習を行い、論理的な思考力を伸ばします。6 問題発見、問題解決、課題遂行能力を養います。7 批判的精神を培い、ディスカッションができる能力を養い、意見を述べる力ができる力を培います。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安		
評価項目1		論理的な文章の読み書きが 8 0 %以上できる。	論理的な文章の読み書きが 7 0 %程度できる。	論理的な文章の読み書きが 6 0 %程度できる。	論理的な文章の読み書きが できない。		
評価項目2		講義の内容を8 0 %以上説明 できる。	講義の内容を7 0 %程度説明 できる。	講義の内容を6 0 %程度説明 できる。	講義の内容が説明できない 。		
評価項目3		自分の考えを8 0 %以上表現 できる。	自分の考えを7 0 %程度表現 できる。	自分の考えを6 0 %程度表現 できる。	自分の考えが表現できない 。		
学科の到達目標項目との関係							
教育目標 (A)							
教育方法等							
概要	日本語中上級レベルの漢字、語彙表現文法を学び、日本語での表現力を養います。						
授業の進め方・方法	リーディングストラテジー、ライティングストラテジーを学び、読解力、パラグラフライティング能力を養成します。また、ディスカッション、クリティカルシンキング、問題発見、問題解決、遂行能力を養います。						
注意点	1 各課ごとの小テストがあります。 2 実際の進捗等によってシラバスを変更することがあります。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 読解練習（1課）		書き言葉の特徴を知る		
		2週	読解練習（1課）		書き言葉の特徴を知る		
		3週	読解練習（1課）		書き言葉の特徴を知る		
		4週	読解練習（1課）		書き言葉の特徴を知る		
		5週	作文の基本		文体・表現・論説文について学ぶ		
		6週	読解練習（2課）		話題とメインアイデアについて学ぶ		
		7週	課題提示		文型と表現について学ぶ		
		8週	読解練習（3課）		複文・文末表現の調整について学ぶ		
	2ndQ	9週	作文の練習		目的の提示について学ぶ		
		10週	読解練習（4課）		文章構成について学ぶ		
		11週	レポートの基本		複雑な内容を整理できるようになる		
		12週	読解練習（5課）		文の構造分析・図表の見方を知る		
		13週	文章表現のルール		ひらがなと漢字のバランス・漢字の誤変換について学ぶ		
		14週	読解練習（6課）		表現・論の構造、文末表現について学ぶ		
		15週	中間試験		読解・パラグラフライティングの達成度を測る		
		16週					
後期	3rdQ	1週	読解練習（7課）		論の展開・接続詞と文章の構成について学ぶ		
		2週	読解練習（7課）		論の展開・接続詞と文章の構成について学ぶ		
		3週	論文の構成要素（1）		序論の構成要素について学ぶ		
		4週	論文の構成要素（2）		本論の構成要素・定義と分類について学ぶ		
		5週	論文の構成要素（3）		本論の構成要素・対比と比較について学ぶ		
		6週	読解練習（8課）		接続表現と予測について学ぶ		
		7週	読解練習（9課）		要約について学ぶ		
		8週	論文を読む①		全体構成、序論について考える		
	4thQ	9週	論文を読む①-2		本論について考える（その1）		
		10週	論文を読む②		実験・調査型について学ぶ		
		11週	論文を読む③		結果・考察・帰結・提言について学ぶ		
		12週	論文を読む④		結論について学ぶ		
		13週	論文を読む⑤		総合練習に取り組む		

		14週	レポートの書き方	複雑な内容の整理ができるようになる
		15週	後期末試験	文章を読み、要約、解説文を書く
		16週	前期末試験返却、解説 N2,N1模擬検定試験	振り返り 聴解・文法・スピーキングの達成度を測る

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
		英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3		
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3		
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3		
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3		
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
		日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。		3		
		説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。		3		
		平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。		3		
		日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。		3		
		母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。		3		
		実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。		3		
		英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3		
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3		
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3		
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3		
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3		
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3		
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3		
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3		
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3		

評価割合

	試験	課題発表	小テスト	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	30	10	10	0	10	100
基礎的能力	40	30	10	10	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0